

つくる、飾る、デザイン行動

2000
作品ナンバー0578

文部省特選 2000年教育映像祭最優秀作品賞・文部大臣賞

生活用具は機能だけでなく、美しさや楽しさも加えてデザインされている。誰もが日常生活の中で「デザイン行動」に関わっていることを紹介し、自分らしい、多様な美的生活をめざすことを伝える。



美しくなりたい、つくったり飾ったりしたい、という気持ちは誰でも持っているし、それらのデザイン行動を誰もが行っている。

生活用品は、役に立つと共に美しく好ましいものとして作られてきた。箸や器。銅の薬缶や竹の花籠、食器や花瓶、どれも作り手のイメージがデザイン行動を通して、具体的な形として表現されている。靴や自動車、絵画の表現の根底にも構成するというデザイン行動がある。

デザインは、コミュニケーションや情報の伝達にも大きな役割を果たしている。障がいのある人もない人も快適に使えるための共用品のデザイン、シャンプーとリンスの容器に工夫をこらした人たちもいる。車椅子も、長時間座っていても快適なようにとか、スポーツをするためにとか、様々な可能性を考えるとところから、デザインの計画や設計が生まれてくる。

生活の中で誰でも、自分が創造者として、また美的に飾る人としての気持ちを持ったり、デザイン行動を楽しむことができるのだ。

記録
ビデオ
カラー／22分

- 自主企画
- 指導
遠藤友麗（文部省初等中等教育局視学官）
春日明夫（東京造形大学助教）
北澤憲雄（東京都立片倉高等学校）
小澤 功（江戸川区立南葛西第二中学校）
- 協力
（財）日本視聴覚教育協会

- スタッフ
- 製作
福間順子
 - 脚本・演出
村山正実
 - 撮影
西山東男
 - VE
小原静二
今野聖輝
 - 選曲
山崎 宏
 - 編集・録音
テレットップ
 - 語り
三波豊和